

令和5年第9回定例教育委員会

令和5年9月27日(水) 午前10時00分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	黒川 淳 司	説明員	教育部長	伊藤 忠 信
	委員	林 大 輔		教育部次長	佐藤 学
	委員	須田 壽美江		学校教育支援室長	
欠席者	委員	麓 美 絵			堂 前 敦
	委員	新 館 忠 義		総務課長	山崎 浩 克
				総務課主幹	鎌田 和 仁
				学校教育課長	稲田 征 己
				学校教育課参事	浅木 義 博
				教育支援課長	清水 さおり
				給食センター長	三浦 洋
				対雁調理場長	佐藤 友 彦
				生涯学習課長	田中 紀 克
				スポーツ課長	堀 井 修
				情報図書館長	表 誠
				郷土資料館長	兼 平 一 志
			記録員	総務課総務係長	河 崎 真 大
			傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 令和5年第3回江別市議会定例会の一般質問について
- (2) 令和5年度小中学生国内交流研修事業について
- (3) 令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について

2 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 令和5年第10回定例教育委員会の日程について

会 議 録

黒川教育長	<p>(開会)</p> <p>ただいまから、令和5年第9回定例教育委員会を開会いたします。</p> <p>本日の議事日程は、配付のとおりであります。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を、林委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1) 令和5年第3回江別市議会定例会の一般質問についての報告を求めます。</p>
伊藤教育部長	<p>伊藤教育部長お願いします。</p> <p>令和5年第3回江別市議会定例会の一般質問についてご報告いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。</p> <p>教育委員会関係分は、9月13日から15日までに、計6名の議員から一般質問がありました。</p> <p>資料2ページをお開き願います。</p> <p>はじめに吉田議員から学校のプールの維持管理について、2点質問がありました。</p> <p>1点目のプールの維持管理の現状についてへの答弁では、プールは設置から年数が経過しているが、使用に支障が出ないよう、改修、修繕等を行ってきた。今年度は、機器等の点検業務を専門業者に委託し、不具合が解消でき、支障なく、プールの使用を終えている。教育委員会としては、今後も安全に学校プールを使用して行けるよう、適切な維持管理に努めていく、と答えています。</p> <p>2点目の教員の労働環境改善に向けた考え方についての質問への答弁では、プールの管理方法は、施設や設備にかかる維持管理、修繕等は、教育委員会が行い、事前の施設清掃や日々の水質管理、設備の操作等の業務は、学校が担当している。こうした方式により、教員が水泳授業の前に、施設や設備、水質の状態を確認でき、水泳授業等における児童の安全確保につながると考えている。</p> <p>一方で、この管理方法は教員の負担が大きいとの声があり、課題のひとつであると考えている。</p> <p>維持管理については、児童の安全を最優先としながら、教職員の働き方改革の取組のひとつとして、引き続き検討を進めていく、と答えています。</p> <p>3ページをお開き願います。</p> <p>次に、吉本議員から生理の貧困に係るこれまでの市の対応と課題について、2点質問がありました。</p> <p>1点目の小・中学校における生理の貧困に係る対応と課題についてへの答弁では、これまでの対応として、令和3年度に、生理用品を用意することが困難な児童生徒を支援するため、学校へ生理用品を提供している。</p> <p>学校では、養護教諭が児童生徒に生理用品を直接渡しており、その際に心身の状態や、家庭環境などの課題を把握し、保健教育や健康相談を実施している。</p> <p>一方で、課題としては、保健室に行くことや相談をためらう児童生徒もいることを考慮し、より相談しやすい環境づくりが必要であると認識している、と答えています。</p> <p>2点目の小・中学校のトイレに生理用品を常備することについての質問への答弁では、教育委員会では、養護教諭が児童生徒との会話等を行った上で、手渡しする必要があると考えている。</p> <p>保健室に行くことをためらう児童生徒がいることを踏まえ、学校では、自ら相談できる力を身につけるための教育や、SOSの出し方に関する教育を進めている。あわせて、教員には、児童生徒理解を深めるため様々な研修を行ってきている。</p> <p>教育委員会としては、配付の在り方について研究していくとともに、児童生徒が相談しやすい環境づくりに努めていく、と答えています。</p> <p>資料4ページをお開き願います。</p> <p>これに対し、吉本議員から、2点目の小・中学校のトイレに生理用品を常備することについてに係って再質問があり、小・中学校における生理用品の配置のあり方の研究についての答弁では、教育委員会としては、昨年度、北海道教育委員会が実施したモデル事業に対するアンケート調査結果を参考に、今年度、市が実施予定の子どもの生活実態調査における回答結果の分析や、養護教諭への聴き取りなどにより、児童生徒の生理の貧困を解消</p>

するための効果的な方法について研究していく、と答えています。

次に、長田議員から熱中症対策について、1点質問がありました。

子供の熱中症予防の取組についてへの答弁では、文部科学省による令和4年9月現在の調査では、冷房設備設置率は、スポットクーラーを含め江別市内の小中学校では6.6%という結果となっている。

また、前回の調査後に、市内小中学校ではスポットクーラーの設置が進んでおり、最新の調査では、普通教室の設置率は32%に増加している。

市内小中学校の電気料金については、教育委員会が一括で管理している。

また、学校における熱中症予防の取組については、熱中症予防情報サイトなどを活用し、危険度を把握したうえで、学校長が体育活動及び部活動の実施の可否等、判断を行っている。

これらに加えて、今年の熱中症予防策として、下校時刻の繰り上げや保護者への迎いの依頼、手持ち扇風機やスポーツドリンクの持参を認めるなど、対応している。

さらに、熱中症警戒アラートが発表された際には、教育委員会から熱中症予防の指針を示すなど、学校において対応が取れるよう注意喚起を行っている。

今後においても、児童生徒の命と健康を守ることを最優先に、熱中症予防対策が適切に行われるよう情報提供を行うとともに、必要な施設整備にも取り組んでいく、と答えています。

資料5ページをお開き願います。

これに対し、長田議員から子供の熱中症予防の取組についてに係って再質問があり、今後の冷房設備設置拡大についての答弁では、熱中症予防対策は重要であると考えており、保健室の暑さ対策や、休み時間などに気軽に涼をとることができるスペースの整備など、検討を進めている。

教育委員会としては、児童生徒の命と健康を守るため、学校に対し熱中症予防対策に必要な情報提供を行うとともに、暑さ指数に基づく熱中症予防の指針の遵守を徹底していく、と答えています。

さらに、これに対し長田議員から、子供の熱中症予防の取組についてに係って再々質問があり、普通教室への冷房設備の設置拡大についての答弁では、学校施設全体の電気容量などの課題を解決する必要があることから、保健室の暑さ対策や校舎内で気軽に涼をとることができるスペースの整備等の充実について、検討を進めていくと答えています。

資料6ページをお開き願います。

次に、三吉議員から学校図書館の在り方について、3点質問がありました。

1点目の学校図書館の蔵書率についてへの答弁では、令和4年度末現在の学校図書館図書標準に対する蔵書率は、小学校では17校中11校、中学校では8校全てで100%を達成している。

教育委員会では、蔵書率の低い学校には予算の追加配分を行い、新規図書の整備を進めて来たことに加え、各種団体から図書を寄贈していただいております、蔵書率100%を達成する学校が、増加している。

一方、刊行後、最新の情報を記載していない古い図書のほか、汚損や破損が激しい図書の廃棄も進めており、毎年5%程度の図書の入れ替えが行われている。

今後においても、学校図書館図書標準に留意しながら、適宜、図書の入れ替えを行うなど、良好な図書環境の整備に努めていく、と答えています。

2点目の学習指導要領に基づく学校図書館の重要性についてへの答弁では、学習指導要領では、学校図書館は欠くことのできない設備であり、様々な授業で活用されることにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資する役割が期待されるものと位置付けられている。

学校図書館が、計画的・継続的に利活用されることが重要であり、図書館資料の充実はもとより、司書教諭等の配置と資質・能力の向上が必要であると考えている。

こうした認識のもと、平成18年度から情報図書館の司書が学校を巡回し、購入図書の選定など、様々な支援を行っている。

今年度、巡回司書を1名増員しており、より効果的な学校図書館の運用に努めていく。

また、学校図書館担当教諭などを対象とした研修に司書等を派遣するとともに、学校を巡回する司書や司書教諭等が相互に情報共有する場を設け、資質・能力の向上を図っていく、

と答えています。

3点目の学校司書の常駐についてへの答弁では、学校図書館においては、情報図書館からの司書の定期巡回及び要請に応じた支援司書の訪問により、環境整備に取り組んでいる。

現体制を継続しながら、その効果を検証するとともに、引き続き、学校における司書の在り方について検討していく、と答えています。

資料7ページをお開き願います。

これに対し三吉議員から、1点目の学校図書館の蔵書率についてに係って再質問があり、今後の蔵書率向上と図書の更新についての答弁では、全校で蔵書率100%を達成できるよう取り組んでいく。

また、更新作業を継続し、魅力のある良好な学校図書環境の整備に努めていく、と答えています。

次に、高柳議員から地域愛が支える持続可能なまちづくりについて、3点質問がありました。

1点目の地域愛を育むことに対する市の認識についてへの答弁では、誰もが住み続けたいまちであり続けるためには、市民のみなさんが地域への愛着を抱き、充実した生活を営み、江別市民であることを誇りに思ってもらえることが重要であると認識している。

こうしたことから、子どもたちが健やかに暮らし、学び続けられる環境の整備と郷土の歴史や文化に触れる機会の充実に取り組んでいる。

えべつ型コミュニティ・スクール事業や、社会科の授業で地域を再発見する取組のほか、郷土資料館では、歴史や産業についての出前講座を実施している。

さらに、幅広い世代の方々に地域の魅力を知ってもらうため、地域おこし協力隊の活動やシティプロモーション事業を通して、江別の魅力を発信しているほか、えべつまち検定やえべつコレクションなど、関係団体による取組も行われている。

市としては、誰からも選ばれ、誰もが住み続けたいまちであり続けるため、市民のみなさんが愛着と誇りを抱き続けることができるよう、まちづくりに努めていく、と答えています。

資料8ページをお開き願います。

2点目の地域文化と歴史を学ぶ場の創出についてへの答弁では、教育目標では、いろいろな歴史をもった可能性あふれる郷土江別に誇りをいただくことを掲げ、ふるさとに対する郷土愛の育成に重点的に取り組んでいる。

教育委員会では、小中学生を対象とした体験型学習のほか、郷土資料館では昔の道具調べ教室、セラミックアートセンターでは陶芸体験事業のほか、本市の産業文化であるれんがへの理解を深めてもらうための出前講座等を実施している。

これらに加え、今年度両館では、子どもたちの学習意欲が高まるよう、生活道具に触れてその移り変わりを実感したり、音の違いでやきものの種類を体感したりするなど、展示方法を工夫している。

教育委員会としては、地域との絆を深め、郷土愛を育むことは重要であると認識しておりますことから、引き続き学校、地域、家庭と一体となり、子どもたちへの様々な体験活動や郷土学習の機会の充実を努めていく、と答えています。

3点目の江別市の未来を担う子供たちの10年後の理想像についてへの答弁では、新たに江別市民となられた方々に、江別のことをもっと知ってもらい、郷土への愛着と誇りを抱いていただくため、これまでも文化・歴史遺産の保存・活用や、れんがに親しむ機会の提供などを通じて、ふるさと意識の醸成と地域文化の創造を図ってきており、このような取組をさらに充実することが重要であると考えている。

江別で生まれ育つ子どもたちも、江別に転入し暮らし始めた子どもたちも、ふるさと江別への愛着と誇りを抱きながら住み続けていただくことが理想であると考えており、たとえ江別を離れたとしても、まちの応援者であり続けて欲しいと考えている。

すべての市民のみなさんが、10年後、20年後においても、ふるさと江別への愛着と誇りを持ち続け、江別の未来像とあるべき姿を描き続けて欲しいと願っており、誰もが暮らしやすいまち、そして、住んでみたいと思ってもらえる魅力あるまちを目指して、市民のみなさんとまちづくりを進めていく、と答えています。

次に、干場議員から暑さ対策について、1点質問がありました。

小・中学校における対策についてへの答弁では、教育委員会では、令和2年度に教室へ

	<p>の網戸や、扇風機・サーキュレーター等を配置するなど、暑さ対策を進めてきている。</p> <p>しかし、今年のような暑さに対応し切れていない現状があり、児童生徒や保護者等から対策を求める声が数多く寄せられている。</p> <p>教室すべてにエアコンを設置するには、室外機の設置場所など様々な課題があり、短期間で整備は難しいと考えている。</p> <p>このため教育委員会としては、保健室の暑さ対策や休み時間などに気軽に涼をとるスペースの整備について、検討を進めていると答えています。</p> <p>資料9ページをお開き願います。</p> <p>さらに、干場議員から子供施策について、1点質問がありました。</p> <p>体育館の使用料についてへの答弁では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の調査結果では、江別市の子どもたちは、令和4年度の体力合計点がコロナ禍前の平成30年度の点数を下回る結果となっている。</p> <p>子どもたちの体力低下が課題であると捉えており、運動への意欲を高め、運動する機会を増やす取組の一つとして、小中学生の体育施設使用料のあり方について検討している。</p> <p>少年期の体育・スポーツ活動は、生涯を通じてのスポーツ活動の基礎を培う上で重要であることから、子どもたちが運動に関心を持ち、運動機会を増やす取組を推進していく、と答えています。</p> <p>以上です。</p>
黒川教育長	<p>ただいま報告のありました、令和5年第3回江別市議会定例会の一般質問について、質問等がございましたらお受けします。</p>
須田委員	<p>生理用品についてですが、各学校の保健室へ生理用品をもらいに行く子供たちはどれくらいいるのでしょうか。</p>
清水教育支援課長	<p>市内小中学校の保健室に生理用品を取りに行く児童生徒の人数につきまして、人数までは教育委員会として把握はしてございませんが、各小中学校の養護教諭からの聞き取りを行う中では、それぞれの学校でばらつきはありますが、月に数名程度が取りに来ているという状況でございます。</p>
林委員	<p>今回は、例年にない暑さということで、熱中症対策や暑さ対策の質問が多かったと思います。質問というよりも意見であります。答弁にあるように、学校の教室全部にエアコンを設置するという事は現実的ではないとは思いますが、優先順位を決めて、少しでも暑さ対策ができるような取組をしていただきたいということと、あわせて今年のように暑く湿気があると、給食の保存も非常に心配になります。最近では食中毒の問題なども出てきておりますので、特に米飯は暑いと米が汗をかいて傷む原因にもなってしまいますので、給食の保存も気をつけていただければと思います。</p>
須田委員	<p>今の暑さに関してですが、各学校の保健室にはスポットクーラーなどがあり、各学校には涼しい場所が、どこかに必ずあるという理解でよろしいでしょうか。</p>
山崎総務課長	<p>各学校25校の状況でございますが、スポットクーラーを置いている学校はあるのですが、基本的には冷房設備はないというのが現状でございます。そのため、教育部といたしましては、まずは暑さ対策の中から、優先的に現実的にどこから整備していくのかと考えた時に、まずは保健室にクーラーをつけるということが、真っ先に着手できることではないかと考え、現在、市長部局と協議を進めているところでございます。</p> <p>また、林委員からのご質問の件では、委員のおっしゃるとおり、全教室にエアコンを設置するという事は物理的に難しいところがございます。例えば、学校の電気容量の問題や室外機を学校のどこに置くのかなど、もちろん財源をどのように確保するのかということもございます。そういったことを考えますと、全ての教室に設置することは難しいのではとは考えておりますが、それでも整備はできないだろうかということ、優先順位は保健室としつつ、その次というところを市長部局と協議を開始していこうと考えているところでございます。</p>
三浦給食センター長	<p>林委員からご質問のありました給食の食中毒対策につきましては、保健所から食中毒警報が出た段階で、各調理員が学校に周知しております。今回の暑さはかなり危険な暑さではあったのですが、調理員が衛生管理にしっかり注意しながら提供を行ったというところでございます。今後も、食中毒が発生しないよう十分対策を取りながら、給食の提供を行っていきたくて考えております。</p>
黒川教育長	<p>そのほかに質問等はございますか。</p>

田中生涯学習課長	<p>(質疑終了) それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承) 次に、報告事項(2)令和5年度小中学生国内交流研修事業についての報告を求めます。田中生涯学習課長をお願いします。</p> <p>報告事項(2)令和5年度小中学生国内交流研修事業について、ご報告いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。</p> <p>今年度の事業については、10月17日から20日まで、3泊4日での実施を予定しております。</p> <p>今回の訪問団のメンバーにつきましては記載のとおりでありまして、小学5年生が9名、中学2年生が3名、合計12名です。</p> <p>引率者は、団長に江別第一小学校の石橋 浩明校長、東野幌小学校の鴨川 勝之主幹教諭、江別第一中学校の眞木 康江教諭にお願いしております。また、担当の生涯学習課からは、青少年係の鈴木主事が同行いたします。</p> <p>日程は現時点の予定として、2ページに記載のとおりです。今年度はホームステイによる土佐市児童・生徒との交流は行わず、全日土佐市内の旅館に宿泊いたします。</p> <p>18日は、今回の受入校であります高岡第二小学校、波介小学校、戸波小学校、宇佐小学校、土佐南中学校、高岡中学校、戸波中学校の7校で交流学習を中心とした学校生活の体験を行います。</p> <p>また、後半の二日間については、ご覧のとおり体験活動を中心に見聞を広めるプログラムとなっております。</p> <p>現在、10月の派遣に向けて、5回にわたる事前研修会を実施しております。8月24日に第1回目の事前研修会を行い、自己紹介の中でそれぞれ研修事業にのぞむ思いや意欲を発表し合ったのち、訪問計画の確認、歓迎交流会の出し物を決定しました。</p> <p>9月4日と19日の事前研修では、北海道や土佐に関する勉強のほか、出し物の練習を行いました。今後は10月3日、10日の2回の事前研修、副市長表敬訪問を経て、交流研修事業本番を迎えることとなっております。</p>
黒川教育長	<p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、令和5年度小中学生国内交流研修事業について、質問等がございましたらお受けします。</p>
稲垣高校総体推進担当参事	<p>(質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承) 次に、報告事項(3)令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催結果についての報告を求めます。</p> <p>稲垣高校総体推進担当参事をお願いします。</p> <p>報告事項(3)令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について、ご説明いたします。</p> <p>1 大会概要について、日程は7月22日から8月21日まで、道内19の市町と山形県、栃木県、和歌山県で開催されました。</p> <p>来場数は、選手、監督コーチ、観客延べで、合計438,545人となりました。なお、これは北海道において集計中であり、現時点では未確定となっております。</p> <p>次に、2 江別市開催競技について、(1)ホッケーは、7月29日から8月2日までの5日間、野幌総合運動公園人工芝ホッケー場など3会場で開催されました。</p> <p>来場数は、記載のとおりで、合計8,155人となりました。</p> <p>(2)競泳は、8月17日から20日の4日間、野幌総合運動公園水泳プールで開催されました。</p> <p>来場数は、記載のとおりで合計7,642人となりました。</p> <p>また、競泳ではパブリックビューイングを記載の時間にセラミックアートセンターで実施し、来場数は4日間で573人となりました。</p> <p>3 輸送支援について、(1)臨時列車をJR北海道の協力により、競泳の開催期間、朝5時50分と6時6分、札幌駅発の列車を運行していただきました。</p> <p>また、(2)シャトルバスを列車の野幌駅到着にあわせ、野幌駅から野幌総合運動公園ま</p>

黒川教育長	<p>で無料で運行し、4日間で計29台、884人の利用がありました。</p> <p>以上、ご説明いたしました。今年インターハイは、4年ぶりにコロナ禍による制限のない大会として、声を出しての応援も可能となり、大変盛り上がりました。</p> <p>また、記録的な暑さの中での開催となり、体調不良を訴える一部選手や競技役員もおりましたが、大きな事故もなく、無事に大会を終了していることをご報告いたします。</p> <p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承後)</p>
山崎総務課長	<p>続いて、2のその他、次回教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。</p> <p>山崎総務課長お願いします。</p> <p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、江別市学校給食費単価の改定について、令和5年度中学生国際交流事業についてなどを予定しております。</p>
黒川教育長	<p>また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、10月27日金曜日午前10時00分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は10月27日金曜日午前10時00分からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第9回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午前10時35分

署名人(教育長) 黒川 淳 司

署 名 人 林 大 輔